

北都小学校「いじめ防止基本方針」



札幌市立
北都小学校

いじめは、「本校に在籍する児童に対して、本校に在籍している等、一定の人間関係にある他の児童が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの」であり、いじめを受けた子どもの権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるものです。本校で策定いたしましたこの基本方針と資料を参考に、「いじめ」について学校、児童、保護者、地域が共通の認識に立って、すべての子どもが幸せに生活できる社会を形成していきたいと強く願っております。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。

いじめとは、子どもの権利を著しく侵害し、心身の健やかな成長や人格の形成に重大な影響を与えるものであり、絶対許されない行為

未然に防止するために～子どもの心を育てる教育活動～

（１）いじめについての理解を深める

- 「いじめは決して許されないこと」という認識、見て見ぬふりをするのは「いじめ」をすることにつながることや、「いじめ」を見たら先生や友達に知らせたり、止めさせたりすることの大切さを指導する。その際、知らせることは決して悪いことではなく必要なことであることも併せて指導する。
- いじめが、被害児童の心身に深刻な影響を及ぼす行為であることを理解させる。
- 思いやりの心や、児童一人一人がかかけがえない存在であるといった、「命の大切さ」を各教科及び道徳や学級指導の時間等を通して育む。

（２）豊かな心の育成を図る

- 児童一人一人が学級の一員として自覚をもち、自分の居場所として実感できるような学級づくりを行う。また、学校や学級のルールを守るといった規範意識の醸成に努める。
- 児童が主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団づくりに努め、自己肯定感や自己有用感を育む。
- こどもの発達段階に応じて、人間関係の基本的なやり取りを身に付ける場を設定し、心の通じ合うコミュニケーション能力を育む。

（３）保護者・地域との連携を図る

- 「いじめ」の未然防止には、学校・家庭・地域の連携を深めることが大切であることを、懇談会や便り等で伝え、理解と協力をお願いする。
- 中学校区青少年健全育成推進会などで、子どもの状況について共有し見守りや声かけなどを依頼していく。

いじめに対する基本姿勢 「いじめは絶対許さない」

未然防止のための具体的な取組

「学び合い学習」の推進	○少人数グループ、集団学習での学び合いを適宜取り入れる。 ○「学び合い」における学び方（聴き方、発表の仕方など）を育む。
異年齢交流の効果的な実施	○異年齢による朝の会や給食・清掃当番活動への支援。【4月】 ○異年齢グループによる遊びの交流【ふれあい遊び】 ○異年齢グループによる遠足の実施【ふれあい遠足】
子どもの命の大切さを見つめ直す月間	○道徳授業での「生命尊重」等の徳目の設定 ○全校朝会での校長講話
児童会によるいじめ防止の取組	○児童会の企画立案による、いじめ防止に関わる自主的な活動
情報モラル教室の実施	○児童及び保護者対象の情報モラルの研修会の実施
ゲートキーパーとしての素養の習得に向けた研修	○市教委の研修会参加者による研修内容の伝達 ○スクールカウンセラーの活用

子どもの命と人権を守る

早期発見・早期解決のために～子どもの心を知る～

（１）早期発見に向けて

- 児童の様子について担任を始めとする多くの職員で見守り、気付いたことを共有する体制を構築しながら、学校として組織的に情報を収集していく。
- 日常的な観察や声かけなどの関わりを大切にし、些細な兆候にも注意を払いながら子どもの変容を見出していく。
- 6・11月のアンケート調査や教育相談を計画的に実施し、児童の人間関係や学校生活等での悩みの把握に努める。
- 日常的に保護者と連携を図り信頼関係を構築し「いじめ」につながるサインに気付いた場合、直ちに学校に相談する旨、さまざまな機会を通じて啓発していく。
- 地域での子どもの見守りを通して「いじめ」の疑いを感じさせる場面を見かけた際は、学校へ通報してもらうよう啓発していく。※窓口：教頭

（２）早期解決に向けて

- 事実関係を早急に把握する。その際、被害者、加害者といった二者の関係だけでなく、構造的に問題を捉える。
- 常に学校として組織的な体制のもとに解決を図る。
- 保護者には事実関係を正確に伝え、学校での指導、家庭での指導や対応の仕方について、明確に依頼すると共に共通理解を図る。
- いじめに関する相談を受けた職員は、管理職に報告すると共に、校内いじめ防止対策委員会を通して校内での情報を共有する。